



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第385号

2018年10月15日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代市でも台風24号による農作物被害が

台風24号が日本列島を縦断、八千代市でも強風や塩害によって、ベランダやガラス窓が塩で白くなり、木立の南側半分が枯れ落葉している様子が市内のあっちこっち至で見られました。

農作物への被害も県内各地で発生、千葉県内の被害は約17億1000万円（10月2日現在千葉県調査）、八千代市の被害は、ダイコン（茎葉の損傷のため減収率4割）、ネギ（倒伏により茎葉の損傷で減収率1.5割）、青刈りトウモロコシ（倒伏し、刈り取り不能）など、面積631.45a。被害額7,772千円（10月5日現在）となっています。

「牛舎の屋根が20枚破損した」「農業用ハウスの損傷を受けた」との声が日本共産党に市議団に寄せられています。今後、調査が進むにつれさらに被害の拡大が予想されます。

農水省に緊急の要請行動

12日、日本共産党八千代市議団は、国会議員や他市の議員とともに農水省に対し、「台風24号被害に伴う農業被害への緊急支援」の要請を行いました。

基幹産業の農業が危機的な状況にあることや野菜の価格高騰の懸念を指摘し、①被害の実態調査。②ビニールハウスなどの農業施設等の被害に経営体育成支援事業を発動すること。③塩害により植え替えを行なった農家に財政的な支援を講じること。④金融機関への返済の繰り延べ・利子補給などの措置を講じること。等を要請しました。



農水省に要請

被害農家の方は、「今から植え直しをするべきか。時期をずらして春キャベツの種を蒔く方がいいのか。ばくち打ちのようだ。と自然を相手の農業の大変さを訴え、種や苗のまき直し助成を求めました。

国民の命と食を保障する政策を

農水省は、全国の被害状況を把握した後、具体的な支援策を考えると回答しました。しかし、被害の実態把握に2カ月もかかるとのこと。救済を急がなければ、農業をあきらめてしまう人もです。

農水省が進める大産地制度を考え直し、農家が希望するものをつくる。多品目を栽培することで被害を減らすようにすること。来年から国際家族農業年が始まることから、農家を支える体制づくりをすすめるよう求めました。

食糧自給率が38%しかなく、自然災害の多い日本では国民の命と食の保障する政策に真剣に取り組む必要があります。